

ヒルフェ通信(10月号) ❁そっと寄り添いやさしくサポート❁

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は東京都行政書士会が社会貢献の一環として設立した法人です。



◆東京都行政書士会主催 第4回遺言・相続手続・成年後見 相談会 相談員派遣

9月7日午後1時から午後4時の間、新宿駅西口地下イベント広場におきまして、東京都行政書士会主催「公証人と行政書士による 第4回遺言・相続手続・成年後見 相談会」が開催されました。市民相談センターより相談員の派遣要請を受け、ヒルフェからは釘田理事が相談員として参加いたしました。

新宿駅西口地下イベント広場の前を通行する多くの方に関心を持っていただき、10数か所ある相談ブースがほぼ満席の状態が続きました。相談者の中には成年後見に関する相談をされる方もおられました。市民相談センターの集計によると相談件数は合計65件もあり、成年後見制度やヒルフェを知っていただく貴重な機会となりました。



◆地区連絡協議会が開催されました！

9月20日(火)地下講堂におきまして、地区連絡会議が開催されました。年に1度、33地区の地区リーダーが一堂に会し、地区活動に関する連絡や情報交換の場として、定着してまいりました。

まずは、理事長の、平素から言われている行政書士が成年後見人に適していることに加え、先ごろの「成年後見制度利用促進基本計画」にポイントの一つである「地域連携ネットワーク」を担う一員となるべく、制度も後押ししてくれている今を良い機会ととらえ、活動していきましょう。という挨拶から始まりました。

続いて専務理事から地区活動の趣旨説明、各担当理事から地区活動費や内規、新入会員の状況、広報資料についてなどの報告及び説明があり、その後の質疑応答では、質問だけでなく改善につながるような意見や要望もいただき、有意義な時間となりました。

その後休憩をはさみ、ブロック別の分散会が開催されました。それぞれのブロック担当理事を中心に、地区活動の報告や情報交換が活発に行われ、支部との関係や、社協をはじめとする関係諸機関との関係性もそれぞれ違いながらも、皆さん熱心に他の地区の話聞いておられました。

最後にブロック代表から分散会の報告・発表がありました。1-3ブロック、4-6ブロック、7-9ブロックとも、既に社会福祉協議会主催の、地域ネットワーク会議(名称はそれぞれ違いあり)等に参加している地区からの発表でした。メンバーは、専門職後見人と言われる他士業の方々はもちろん、市民後見人や介護職関連の方たちが加わっているところもありましたし、会議の方法として、各士業から幹事会役員を出し、交代でテーマや司会進行などの役割を担っているところもありました。どこの地区も、顔の見える関係性の中で、ヒルフェの存在を知ってもらい、信頼関係を築いていくことの大切さを言っておられたのが印象的でした。発表の最後は町田地区で、7月に社協主催でヒルフェ町田地区会員による成年後見に関する演劇とセミナーを行い、大変盛況であったとの報告がありました。

地区連絡協議会は、平成25年に地区リーダー会議という名称で行ったのが最初ですが、当時は関係機関にもほとんど認識されていないような状態で、社協との関係構築の悩みなどが大半だったように記憶しております。まだ地域性によって困難な状況にある地区もあるものの、各地区の地道な努力で、ヒルフェの存在が確実に地域に根付きつつあることを感じられた大変有意義な会議となりました。

